

【白浜町渋滞緩和でオリコンサル 成果報告と対策提言】

成果報告と対策提言

白浜町渋滞緩和  
でオリコンサル

オリエンタルコンサルタンツと和歌山県白浜町、南紀白浜エアポートの3者は26日、白浜花火フェスティバルと白浜花火大会開催時に実施した交通渋滞対策の成果を、白浜



藤田会長(手前側右)に報告する野崎秀則オリエンタルコンサルタンツ社長(同左)ら

観光協会の藤田正夫会長、白浜警察署の高砂和彦署長に報告するとともに、課題を踏まえた新たな対策実施を提言した。

3者は7月1日に締結した覚書に基づき、同30日の花火フェスティバルと8月18日の花火大会の開催時における「渋滞ゼロに向けた大作戦」を協働して実施。町に向かう観光交通では県道33号での最大渋滞長が前年に比べ7割以上、渋滞継続時間は9割以上減少するなど大きな効果を上げた。町内での臨時駐車場への入庫待ちによる渋滞も解消。大会終了後の帰宅交通でも渋滞の大幅緩和を実現した。

一方で臨時駐車場からイベント会場となる白良浜まで遠く、臨時駐車場にタクシーを呼ぶ来街者が多数いたことや、大会終了直後に帰宅が集まったことなど、今回新たに

分かった課題を踏まえて、臨時駐車場と白良浜間の移動手段の検討や同区間での安全性を向上するための交通規制など関係機関との協議、さらなる経路分散や時間分散の促進が必要だと提言している。